

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	山口公民館施設提供事業	所管	教育委員会教育総務部 山口公民館
			Tel 2924-1224

事業の目的 (何の為に 行うか)	集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	82,086	人

活動の内容	(何を したか)	①施設の利用申請については、従来からの窓口申請に加えて、市民の利便性を図り情報化社会への対応として、平成11年度からは公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末機・インターネットによる利用予約手続きが可能となっており、平成18年10月からは携帯電話からも申し込みが可能となっている。 ②利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため一定の利用制限(時間的制限)を設けている。							
	活動実績	項目名	年間利用可能区分数(公民館)	29866	項目名	年間利用区分数(公民館)	17045	項目名	単位
			単位	回		単位	回		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	21,710	18,888	24,618	72.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100	80	57.1	71.4
			単位	単位	単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了		

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120710	TEL	2924-1224		
事業コード	120718		山口公民館施設提供事業					
開始年度		昭和	22	年度	—	終了年度	平成	年度
グループ		山口公民館						

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	第3次所沢市生涯学習推進計画			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則
	関連・類似事業	コミュニティ施設提供事業(コミュニティ推進課)			
	総合計画の体系	政策	第4章 いまきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	4節 社会教育 中柱 2 社会教育機関の充実 小柱 (3) 公民館の整備・充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位 ・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○			
事業開始の背景	昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においてはその設置目的達成のため、各種の事業を行うとともに、その施設を住民の集会その他の公的利用に供することとされている。				

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)						
	集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	市民			公民館の部屋を利用した延べ人数			
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	平成 18 年度	80,995
		平成 19 年度	339,058	人	平成 19 年度	82,086	人
事業の具体的な内容及び実施方法							
①施設の利用申請については、従来からの窓口申請に加えて、市民の利便性を図り情報化社会への対応として、平成11年度からは公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末機・インターネットによる利用予約手続きが可能となっており、平成18年10月からは携帯電話からも申し込みが可能となっている。							
②利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため一定の利用制限(時間的制限)を設けている。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		《 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 》			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点 利用者の主体性の確保と事務量の軽減、事務の迅速化を図るため、施設利用申請、抽選申込みに際しては、可能な限りロビー端末やインターネットの利用を勧めている。					

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		20,872	21,710	26,256
	決算(見込み含む)		20,693	18,888	
	(嘱託職員)(臨時職員)	( 1.00 人 ) ( 0.20 人 ) ( 0.70 人 ) ( 0.70 人 )			
	正規職員人件費		0.75 人 6,900	0.61 人 5,730	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費		24,101		
	事業費合計		51,694	24,618	
	財源内訳	一般財源	49,089	21,918	23,664
		国・県支出金			
		受益者負担金	2,605	2,700	2,592
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	153.0	72.6		
	利用数一単位あたり(単位:円)	638.2	299.9		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	年間利用可能区分数(公民館)	1日6区分×部屋×開館日数(月曜日は4区分で計算)	回	30120	29866	29866	
		年間利用区分数(公民館)	年間延べ利用区分数	回	13273	17045	17200	
	成果分析	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100	目標値	80	80	80	80
実績				44.1	57.1		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
% 達成率				55.1	71.4		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input checked="" type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	現在は原則として5人以上のグループ・団体利用に限られているが、市民ニーズに対応しさらに多くの利用促進を図るために、対象や人数の見直しも検討される。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	施設利用の促進	年間施設稼働率80%	平成21年3月	
		良好な施設のための修繕と維持管理に努める。	敷地内段差の解消。	平成21年3月	
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) ) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	地域の拠点および生涯学習の拠点施設として、幅広いニーズに対応した施設整備を行っていく必要がある。				
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	館長 相田 肇		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了	
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	評価日		
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い 高い やや低い 低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標 市長マニフェスト	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	評価日		

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1262
	基本目標	子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
	主要課題	2ホムタウンとしての家庭・地域づくり		
施策の方向	6地域での交流機会の拡大			